

# 地域の課題解決をウイングベイ小樽で！

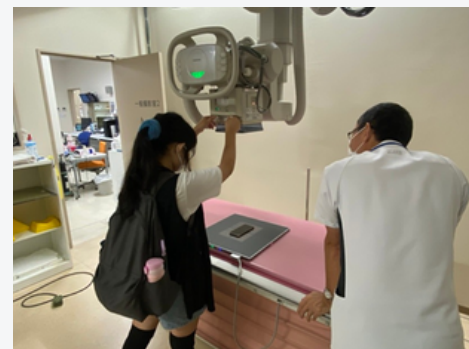


## フリースクールを開設

小樽市教育委員会によると、心理的な要因などで年間に30日以上欠席した市内の不登校の奨学生は、2017年度以降100人台で推移し、2023年度には258人に達しています。

こうした状況を受け、当会では、入会金や授業料を無料とし、ウイングベイ小樽の「済生会スクエア」に試行的にスクールを開設しました。

授業内容は、子どもの希望や理解度にあわせて検討し、病院見学や調理体験など済生会にしかできない社会体験も行っています。



## 小樽暮らしたい共生フェス

ウイングベイ小樽で「小樽暮らしたい共生フェス2025」を開催。地元の住民をはじめに内外から約7,500人が参加しました。

このイベントは、年齢や性別、国籍、障がいの有無などを問わずに誰もが暮らしたいまちづくりについて考えることを目的に開催しています。

全国の企業や学生も参加し、小樽の未来につながるアイデアの発表もあり、「暮らしたい小樽」へのネットワーク形成にもつながっています。



## 病診連携と介護予防活動の推進

在宅医療を専門に手掛がける「かもめ訪問診療所」がウイングベイ小樽に開設。

子高齢化が進むなか、高齢者の割合が増加し、訪問診療の必要性が高まっています。院長の今井貴史先生は、その人らしい人生を、最後まで支え続ける」を診療所の理念に掲げ、他の医療機関や訪問看護ステーション、在宅支援事業所の方々と連携して24時間365日の体制で、患者さんとご家族を支えたいとしています。